

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	リチウムイオンと多価イオンが奏でるデュアルイオン蓄電池に向けた新学理の構築
研究代表者	市坪 哲 (東北大学・金属材料研究所・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、応募者らが提唱した一価と二価のイオンを同時に利用するデュアルキャリア蓄電池のための材料科学を構築することを目的としている。一価イオンと多価イオンを用いる蓄電池の長所と短所を認識した上で、精緻な実験と計算を併せてデュアルイオンによる協奏的相互作用の学理を深化させるものであり、極めて独創性が高く、十分な研究成果が得られることが期待できる。</p> <p>また、本研究は、安全で高エネルギーのデュアルキャリア蓄電池の開発に向けた第一歩になり得るため、実用的観点からも注目されるものである。</p>